

ナンバープレート修正器 (当盤)

ナンバープレートの下には、ウェスなどを敷き、プラスチックハンマーや木ハンマーを使用し、傷が付かないような配慮が必要です。

POINT!



ストレート凹側はナンバーの文字を逃げる為に、溝をずらしてあります。確認してセットしてください。

POINT!



作業する時、使用しない方の凹側プレートを、作業ケ所の対角に置くと、ナンバープレートが水平になり、作業がしやすい。

POINT!



POINT!

最初に、ストレート部分を修正してから、アングル部分を修正する方が、アングル部の位置決めがしやすい。



POINT!

変形が大きい場合は、ストレートもアングルも、始めから強く叩くと、ラインがずれる可能性があります。力を加減して、確認しながら徐々に修正をおこなってください。

- この修正器は、あくまでも外周のリブ部分を修正する道具です。平面部分は、プラスチックハンマーや木ハンマーで修正して、それからリブ部分の修正をしてください。
- ナンバープレートはアルミ製です。力を加えすぎると、延びて変形します。
- ナンバープレートの塗装面には、叩き加減によっては、多少傷が付きます。



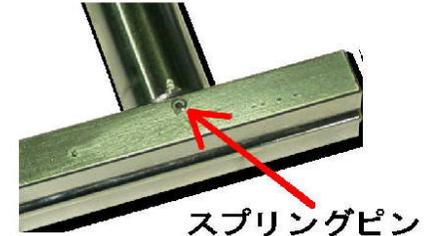
POINT!

バイスを使用する場合も、一度に仕上げようとせず、数回に分けて力を加えて作業すると、ラインもずれずに綺麗に仕上がります。



POINT!

プレート修正器のバイスに挟む位置を変える事によって、綺麗に仕上がります。



POINT!

ストレート側は、シャフトのスプリングピンを抜いてもらえば、バイスの使用が可能です。

従来のプレート修正作業は、平面部分はハンマー、外周リブの部分は平タガネや、定盤の角を利用して作業していた。(要職人技)
RD-702があれば、誰でも簡単!

- ハンマリング作業同様、力を加えすぎると、プレートは延びて変形します。
- ナンバープレートの塗装面には、バイスの力加減によっては、多少傷がつきます。
- バイス作業の方が、ハンマーによる衝撃がない分、ラインのズレが発生しにくいので、慣れるまでは、こちらの方が綺麗に仕上がると思います。

ナンバープレート損傷による再発行について

ナンバープレートの再発行には、約1週間の期間がかかります。
ナンバープレート代は、地域によって異なりますが、中板サイズで¥1,500位です。プラス、代行手数料などがかかります。
保険を使用して板金修理を行う場合は、再発行の手続きを行う事が多いようです。(損傷具合にもよる)

自費板金修理や、保険会社が再発行を認めない損傷の場合は、プレート修正の必要があります。